試験研究第７－１０号　　令和７年６月20日

成　績　書

「エココンポスト（採取日：令和７年４月24日）」の

植物に対する害に関する栽培試験

公益財団法人　日本肥糧検定協会

（本　　部）〒174-0054　東京都板橋区宮本町 39-14

電話 03（5916）3833　Fax 03（5916）3828

（関西支部）〒650-0041 兵庫県神戸市中央区新港町 14-1

電話 078（332）6491　Fax 078（332）6545

「エココンポスト（採取日：令和７年４月24日）」の植物に対する害に関する栽培試験

依 頼 者　　株式会社井上政商店

1．試験機関の名称及び所在地

公益財団法人　日本肥糧検定協会

東京都板橋区宮本町３９番１４号

2．試験担当者の氏名

篠 村 善 徳

3．試験の目的

「エココンポスト（採取日：令和７年４月24日）」の施用による、こまつなの発芽と発芽後の生育への支障の有無及びその程度を知るため、幼植物試験を実施する。

当試験は、「植物に対する害に関する栽培試験の方法」（昭和59年４月18日付け59農蚕第1943号農林水産省農蚕園芸局長通知、改正令和３年10月12日付け３消安第3183号農林水産省消費・安全局長通知）に則って実施する。

4．試験の設計

（イ）供試試料の種類及び名称並びに分析成績

	供試試料の種類	供試試料の名称	分析成績（%）			
			水分	T-N	T-P_2O_5	T-K_2O
供試試料	汚泥肥料	エココンポスト	26.12	4.64	6.09	0.43

（ロ）供試土壌の土性、沖積土又は洪積土の別等

土性	沖積土又は洪積土の別	種類	pH (H_2O)	電気伝導率 mS/cm	陽イオン交換容量 meq/乾土100g	容積重 g/風乾土500mL	最大容水量 乾土当り重量%
シルト質壌土	洪積土	火山灰土	6.3	0.55	35.4	418	150

注）pH調整のため、苦土石灰を1%未満加えた。

(ハ) 供試作物の種類及び品種

こまつな（菜々子）

(ニ) 施用の設計及び試験区の名称

試験区	供試試料の施用量 (mg/ポット)	成分量 (mg/ポット)			備考
		N	P_2O_5	K_2O	
供試試料区 (T)	2.16	100+25	131+25	9.3+25	下に記載
標準区 (B)	-	25	25	25	

注) 1. 供試試料に含まれる窒素は乾物換算値で2%以上のため、施用量は窒素全量を基準にポット当たり100 mgに設定した。

2. T・B両試験区に、N、P_2O_5、K_2Oとしてそれぞれ25 mgに相当する量の硫酸アンモニア、過りん酸石灰及び塩化加里を施用した。

(ホ) 栽培方法

試験は通知に則って、2 mmのふるいを通過させた風乾土壌と1 mmのふるいを通過させた供試試料及び標準区で用いる肥料とをよく混合し、ノイバウエルポットに詰めて最大容水量の約60%となるよう水分調整した後に供試作物を20粒は種した。試験期間は3週間とした。

施肥	は種	収穫	施設
令和7年5月19日	令和7年5月26日	令和7年6月16日	人工気象室

注) 供試試料は予め土壌と混合し、最大容水量の約50%の水分及び30 ℃の状態で7日間培養（インキュベート）を行った。

5. 管理の状況

試験は通知に則って、試験期間中における土壌の水分は最大容水量の50～60%を保つよう減水分を補給した。

また、試験期間中は人工気象室において栽培温度は18 ℃～25 ℃を維持した。光源はLED照明とした。

追肥及び農薬の散布は実施しなかった。

土壌充てん	追肥	農薬散布
令和7年5月19日	なし	なし

6．試験結果

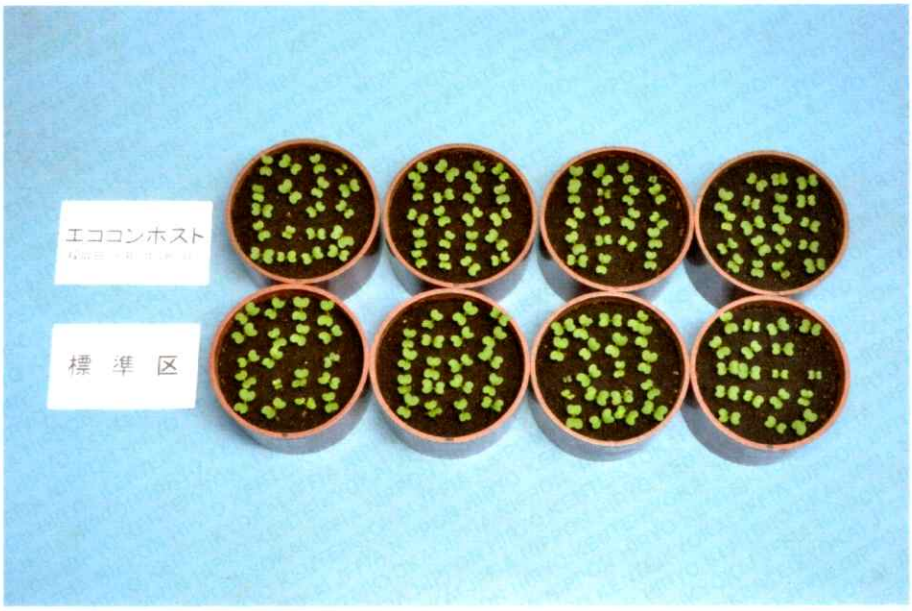
（イ）発芽及び生育調査成績

試験区	ポット No.	発芽調査成績		生育調査成績			異常症状
		5月29日	5月30日	6月2日	6月16日		
		発芽率 (%)	発芽率 (%)	葉　長 (cm)	葉　長 (cm)	生体重 (g/ﾎﾟｯﾄ)	
供試試料区 (T)	1	95	95	3.3	10.9	31.2	
	2	100	100	3.1	11.1	33.3	
	3	90	95	3.1	11.0	32.4	
	4	95	95	3.1	11.0	32.7	
	5	95	95	3.2	11.1	33.1	
	6	80	90	3.1	10.9	31.2	
	7	85	90	3.2	11.0	32.4	
	8	90	95	3.2	10.8	30.4	
	平均	91	94	3.2	11.0	32.1	無
標準区 (B)	1	90	95	3.2	10.2	24.6	
	2	95	95	3.2	10.2	25.2	
	3	85	90	3.2	10.1	24.0	
	4	100	100	3.2	10.2	25.0	
	5	85	90	3.2	10.1	23.9	
	6	85	90	3.3	10.1	23.9	
	7	85	90	3.2	10.0	23.5	
	8	90	95	3.2	10.1	23.6	
	平均	89	93	3.2	10.1	24.2	－

（ロ）合否判定のための供試試料区（T）と標準区（B）の生体重の統計解析結果

T区及びB区の等分散性の検定 (*F*検定：両側有意水準5%)			T区及びB区の平均値の差の検定 (*t*検定：片側有意水準5%、等分散を仮定)		
分散比	境界値	*p*値	*t*値	境界値	*p*値
2.61	上限値 4.99 下限値 0.20	0.229	18.31	1.76	<0.001
有意差なし			有意差あり（T>B）		

発芽状態の写真
（５月３０日撮影）



生育状態の写真
（６月１６日撮影）

7．考　察

株式会社井上政商店の依頼により「エココンポスト（採取日：令和7年4月24日）」の施用による、こまつなの発芽と発芽後の生育への支障の有無及びその程度について、幼植物試験を実施して、次の結果を得た。

試験の合否とその理由

供試試料区の発芽率（5月30日）は、標準区と同等の成績を示した。

供試試料区の葉長（6月16日）は、標準区と比較して上回る成績を示した。

供試試料区の生体重の平均値は、標準区の生体重の平均値と比較して上回る成績を示した。また、試験期間を通じて植物の生育上の異常症状は認められなかった。

以上の理由により合格と判断する。

8．試験機関の責任者の証明

以上は、依頼により本協会が行った試験の結果であることを証明する。

令和7年6月20日

公益財団法人 日本肥糧検定協会
関西支部扱
理事長　天野雅猛